

平成23年度宇都宮市学習と生活についてのアンケート（宇都宮市立清原北小学校5年）

■分析と今後の指導上の工夫

- ・ 勉強が好きですか」の問いに対して肯定割合が90%を超え、市の平均を大きく上回っており学習への意欲が高いことがわかる。教科ごとにその教科が好きかを問う設問では、教科によってばらつきがあり、個人差も大きかった。
- ・ 平日の家庭での学習時間は、1時間から1時間半が最も多く、それ以上を含めると8割を超える。休日でも1時間から1時間半が多く、それ以上を含めると7割弱であった。学習の内容についても「授業で習ったことをその日のうちに復習している」「その日のめあてを決めて学習している」割合が市の平均を大きく上回り、家庭学習がほぼ定着していると考えられる。
- ・ 授業への取り組みについては、すべての項目で肯定割合が9割程度で市の平均とほぼ同じである。中でも「学習して、おもしろい、楽しいと思うことがある」は、全員が肯定している。学習に対する気持ちや態度については、「学習していて、いろいろなことが分かったり、できるようになったりすることはうれしい」「自分の力をできるだけ伸ばしたい」は、全員の児童が思っており、児童の前向きな気持ちを生かした指導と支援を進めていきたい。
- ・ 生活については、あいさつ、ルールやマナーを守ることににおいては、市の平均とほぼ同じまたは、上回った。地域で知っている人へのあいさつも肯定割合が高い。
- ・ 読書については、平日、休日とも3時間以上読む児童がいる一方、ほとんど読まない児童も平日2割、休日3割程度いる。よく読む児童のよさを伝えて、読まない児童にも読書の楽しさを伝えられるよう指導を工夫していきたい。
- ・ 「1日にどれくらいテレビ、ビデオ、DVDを見ていますか」という問いに「2時間以上」の子が平日4割弱、休日ともなると約6割を超える。「1日にどれくらいテレビゲームやパソコンをしていますか」の問いに、平日も「2時間半」という児童がおり、休日になると、3時間以上の児童も見られる。健康面からも問題があると思われる。家庭と連携して指導をしていきたい。
- ・ 起きる時間は6時から6時半、寝る時間は9時から10時、毎日朝食をとっているなど生活習慣は、ほとんどの児童は問題ない。
- ・ 携帯電話の所有率は、宇都宮市の平均を上回っている。家庭でのルールを決め、フィルタリングをしている家庭が多いが、不十分な家庭もあるので、指導をしていく必要がある。